

デング熱媒介蚊

ヒトスジシマカ

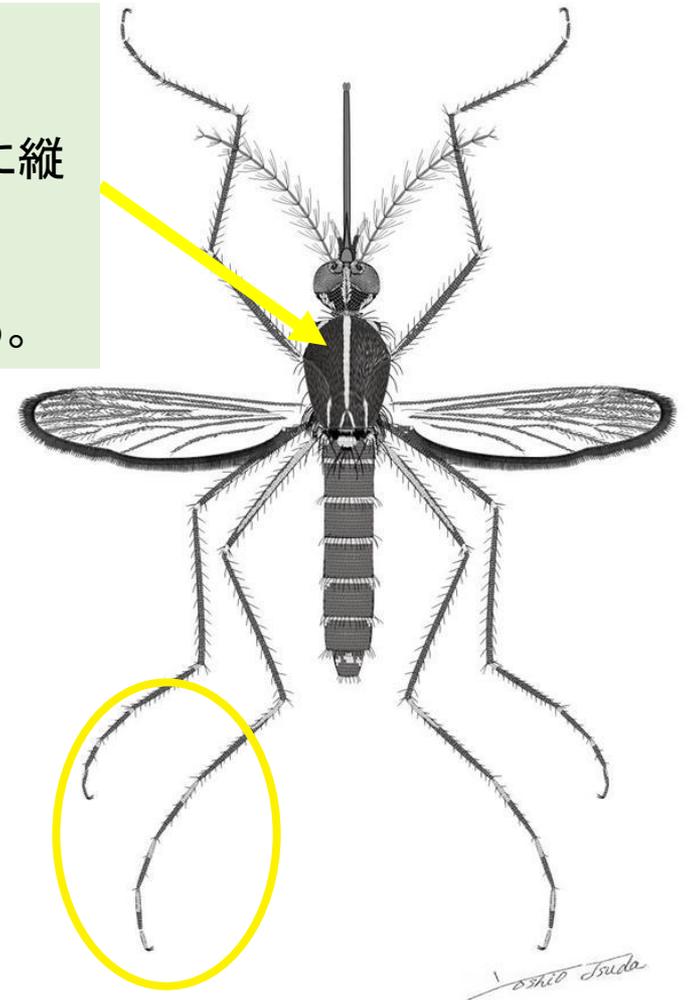
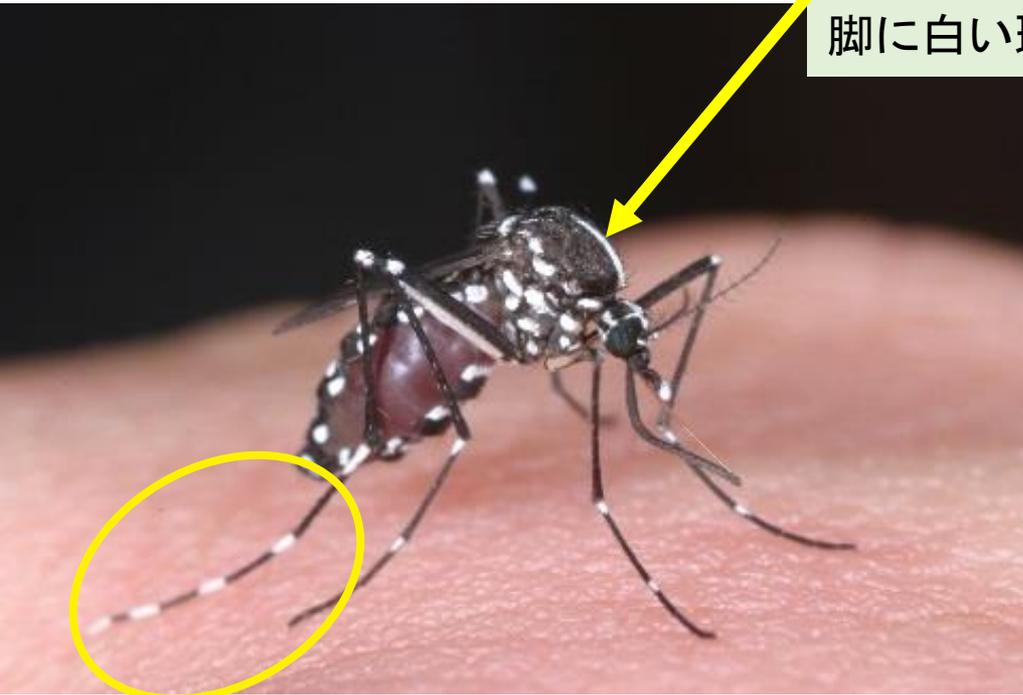
(1)我が国のデングウイルスの媒介蚊(ヒトスジシマカ)

ヒトスジシマカ
Aedes albopictus

特 徴

胸部背面の中央に縦筋が1本ある。

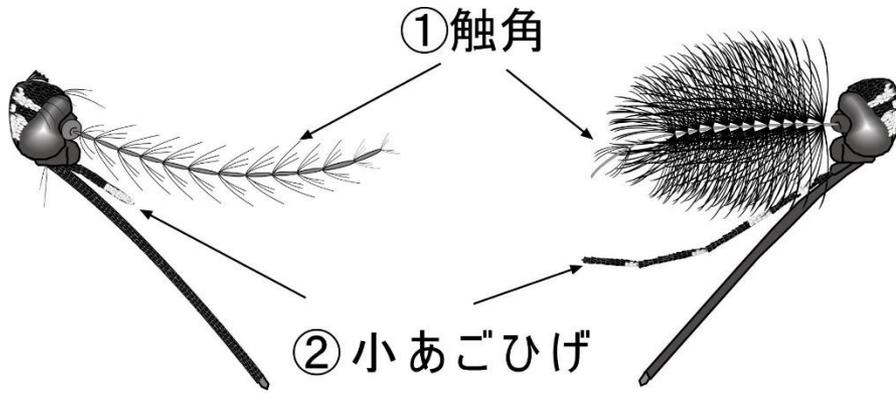
脚に白い斑がある。



雌

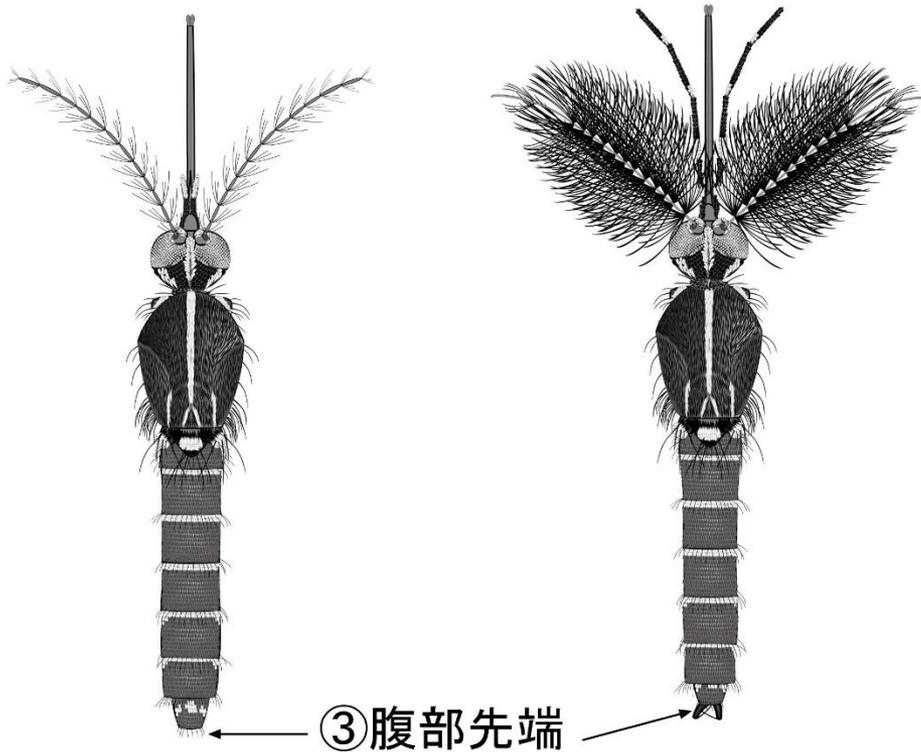
雄

雌雄の違い



①触角の形状
雄は羽毛状、雌は線状。

②小あごひげの長さ 雄は長い、雌は短い
(例外:ハマダラカでは、雌雄ともに長い。)



③腹部先端
雄では交尾器がハの字状に付属している。
雌の先端は単純。

我国に生息するシマカ類

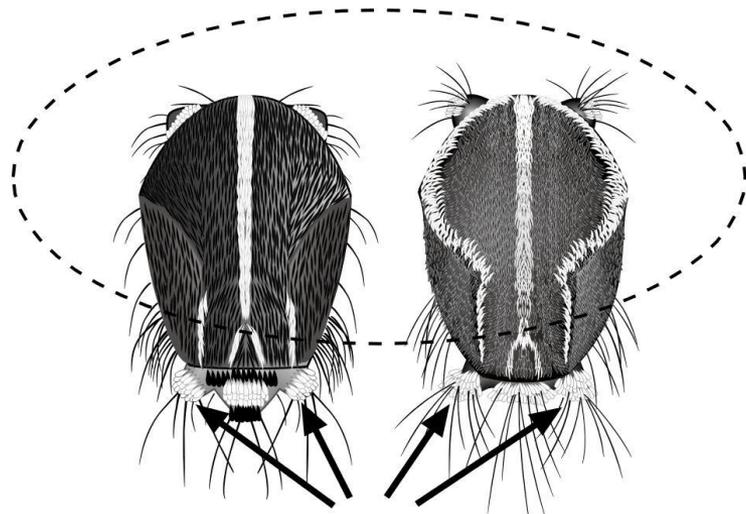
日本産シマカ類 6 種の名称と分布

種 類	学 名	我が国における分布
ヒトスジシマカ	<i>Aedes (Stegomyia) albopictus</i>	本州(青森を除く)以南
ヤマダシマカ	<i>Aedes (Stegomyia) flavopictus</i>	日本全土
リバーズシマカ	<i>Aedes (Stegomyia) riversi</i>	西日本から八重山諸島
ミスジシマカ	<i>Aedes (Stegomyia) galloisi</i>	北海道・本州
ダイトウシマカ	<i>Aedes (Stegomyia) daitensis</i>	南北大東島
タカハシシマカ	<i>Aedes (Stegomyia) wadai</i>	小笠原諸島

1) シマカ類成虫の形態的特徴

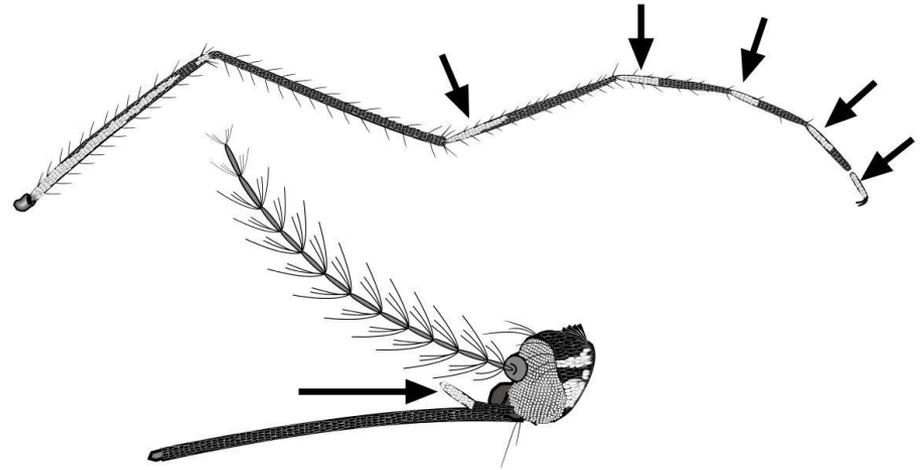
我国産のシマカ類を他の蚊と区別する特徴は、以下の4つである。(1)中胸背板に明瞭な白あるいは黄白色の縞か模様がある、(2)後脚の第1～5ふ節のすべてに白帯がある、(3)小楯板側葉の鱗片は幅広である。(4)小顎鬚の先端は白鱗片で覆われる。

中胸背板に模様がある



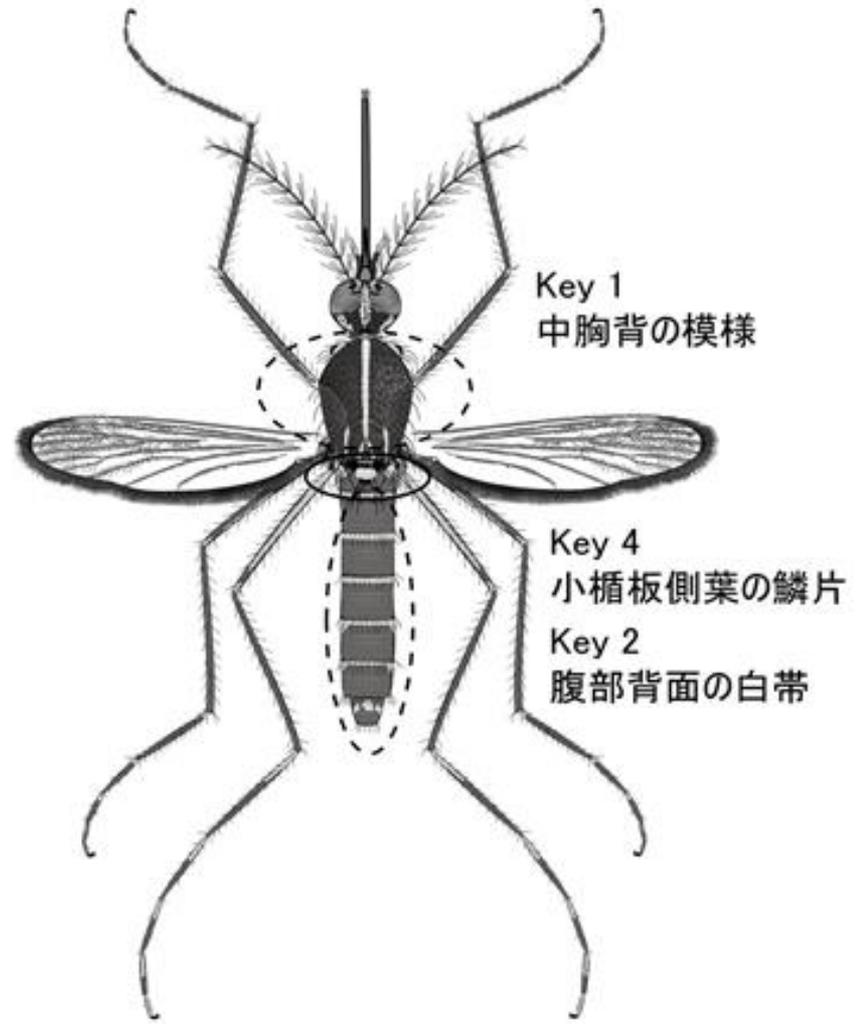
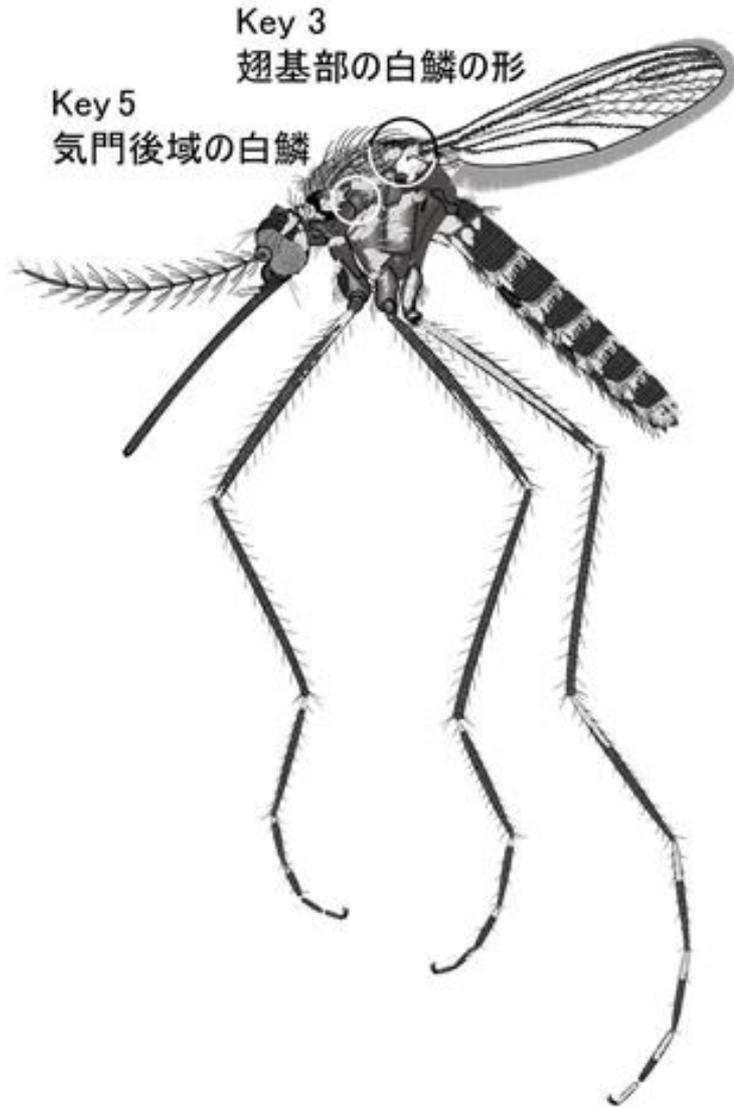
小楯板の側葉の鱗片は幅広

後脚第1～5ふ節に白帯がある



小顎鬚の先端は白鱗で覆われる

シマカ類の種類同定で重要な形態的特徴は、以下の5つである:(1)中胸背面の縦筋(Key 1)、(2)腹部背板の白帯の位置(Key 2)、(3)中胸背側縁の翅基部上部にある白色ないし黄白色の鱗片の形状(Key 3)、(4)小楯板の両側葉の鱗片の色(Key 4)、(5)胸側面(気門後域)の白色鱗斑の有無(Key 5)。



2) 日本産シマカ類 (*Stegomyia*) とネツタイシマカ成虫の検索表

1. ・中胸背は中央に銀白色あるいは黄白色の一本の縦筋(正中条)を持つ(図 1a)。 ……2
 - ・中胸背は正中条を持たない(図 1b)。 ……………6
2. ・腹部背板の基部に白帯がない(図 2a)。 ……………3
 - ・腹部背板の基部に白帯がある(図 2b)。 ……………4

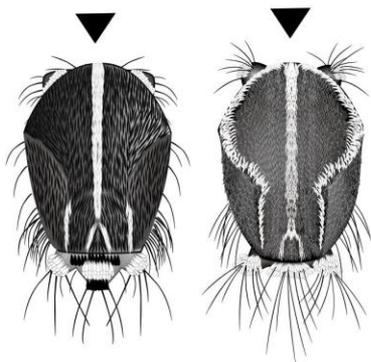


図 1a 正中条がある。

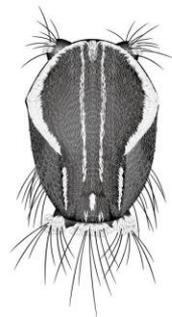


図 1b 正中条はない。

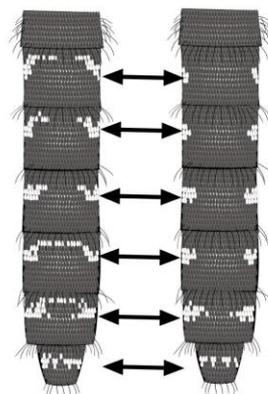


図 2a 腹部背板の白帯あるいは白斑は、基部ではなく中間にある。

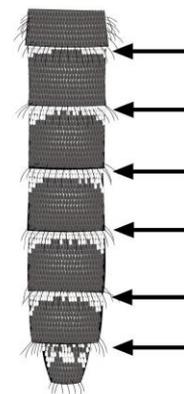


図 2b 腹部背板の基部に白帯がある。

3. ・中胸背側縁の翅基部の上方にある鱗斑は三日月型で黄褐色の鱗片からなる(図 3a)。

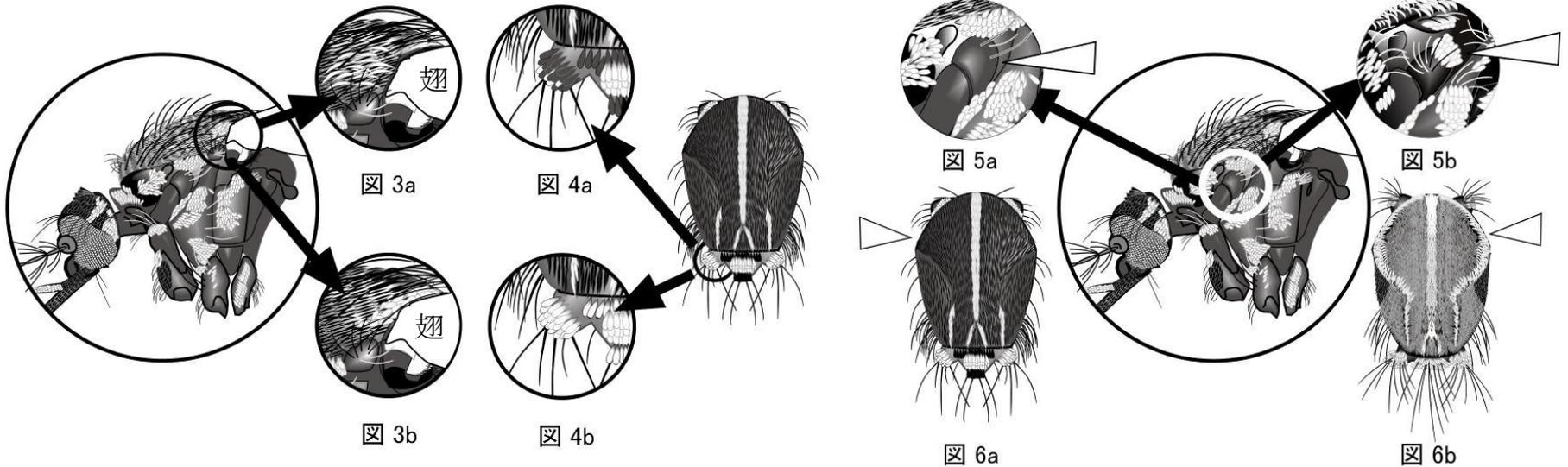
小楯板の両側葉は暗色鱗片のみか白色鱗片が混じる(図 4a)。…………… ダイトウシマカ

・中胸背側縁の翅基部の上方にある鱗斑は幅広で銀白鱗片からなる(図 3b)。

小楯板の両側葉は白色鱗片で覆われる(図 4b)。…………… リバースシマカ

4. ・気門後域には白鱗斑がない(図 5a)。中胸背板の前側縁に白色の筋はない(図 6a)。……………5

・気門後域は白鱗斑を持つ(図 5b)。中胸背板の前側縁に白色の筋がある(図 6b)。…………… ミスジシマカ



- 5. ・中胸背側縁の翅基部の上方にある鱗斑は三日月型で黄褐色の鱗片からなる(図 7a)。 ヤマダシマカ
- ・中胸背側縁の翅基部の上方にある鱗斑は幅広で銀白鱗片からなる(図 7b)。…………… ヒトスジシマカ
- 6. ・中胸背には一対の細い縦筋(亜正中条)がある(図 8a)。…………… ネットアイシマカ
- ・中胸背には亜正中条がない(図 8b)。…………… タカハシシマカ



図 7a

図 7b

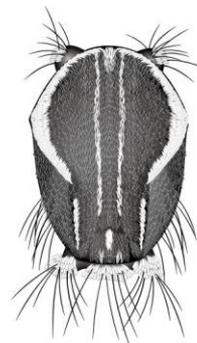


図 8a

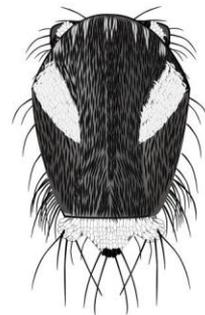


図 8b